

---

# 区切りをつけないと書けない人

ケセンネさん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

区切りをつけないと書けない人

### 【Nコード】

N5591V

### 【作者名】

ケセンネさん

### 【あらすじ】

何かを始めるときに宣言しないと気が済まない、自分のことだけでも、今気がついた。  
なので、始めますよ宣言のある意味選手宣誓なのである。

昔から作文が億劫だったということを今になって思い出した。

小学校のころは200字詰め原稿用紙を前に、  
中学校のころは400字詰め原稿用紙を前に、  
高校生のころは原稿用紙が複数枚に変わり、  
大学生のころはレポート用紙に変わり。

そして、今、パソコンの画面を前にして新たに気がついた。  
実は億劫であることに含まれている最も重要な事。

それは、白さ。

何かを始めようという時に目に現れる紙の白さ。  
何かを書きたいはずなのに無言の圧力をもつディスプレイの白さ。  
どうして、自分から表現をしようとしているのに、  
どうして、物語の登場人物はいろいろな感情を持っているはずなの  
に、

どうして、画面の前の私の顔はしかめっつらをしているのか。

今は違う。

漠然とした頭の中に移ろいく様々なイメージ、想像を、  
表現する為に私はここにいる。

だから、今の感情を捉えて、それを第一歩とする。

つれづれなるままに、日ぐらし硯<sup>がめん</sup>に向かひて、

心にうつりゆくよしなしごとをそこはかとなく書き付けられ、  
あやしうこそ物狂ほしけれ。

(後書き)

というわけでよろしく願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5591v/>

---

区切りをつけないと書けない人

2011年10月9日13時26分発行